

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8-1-①： 学校において編成された教育課程の実現にふさわしい施設・設備（例えば、校地、運動場、体育館、教室、研究室、実験・実習室、演習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設、図書館等、実験・実習工場さらには職業教育のための練習船等の設備等が考えられる。）が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。

（観点到に係る状況）

本校は、昭和 39 年の創設以来、高等専門学校設置基準第 22 条～第 27 条における施設、設備の基準を十分に満たしつつ、設置目的及び教育課程に対応して必要と考えられる施設、設備の充実、整備を計画的に行ってきた。

1) 校地と校舎

本校の敷地面積及び校舎面積を、資料 8-1-①-1 に示す。設置基準による基準面積に比し、十分にその基準を満たしている（資料 8-1-①-2）。

2) 運動場等

運動場等は、校舎と同一の敷地内にあり、サッカー・ラグビー場・400m 陸上トラック、野球場、ハンドボールコート、テニスコート、プールを備え、授業や課外活動等に利用している（資料 8-1-①-3）。

3) 体育館・武道場

第一体育館、第二体育館及び武道場を備え、授業や課外活動に利用している（資料 8-1-①-3）。第一体育館は、全校的な式典及び集会等に利用している。第二体育館には、筋力トレーニング設備も設置している。

4) 教室

教室は、合同講義室等を含み 30 室あり、すべて空調機器を設置している（資料 8-1-①-4～6）。1～4 年生には、ホームルームを指定している。5 年生については、ホームルームを指定せず、必要な場合は、その都度選択教室等を割り振って使用している。生活・修学上の指導が異なる低学年と高学年とで生活空間をある程度分離するために、1～3 年生の教室は、管理棟北側の講義棟に配置し、4 年生のホームルームは、電子制御工学科棟の 1～3 階に配置している（資料 7-1-②-4, 153～157 ページに前出）ホームルームには、机、椅子、連絡用掲示板を備えている。一学年（200 名）収容可能な合同講義室及び選択教室、講義室 1, 2, 3 には、視聴覚設備を設置している。また、専攻科棟には、視聴覚機器を備えたオープンシアターを設置している。

5) 実験室・演習室・研究室

一般科目の授業用に物理及び化学実験室（資料 8-1-①-7）を設置している。専門の教育研究に必要な実験室や演習室は、学科毎に配置している（資料 7-1-②-4, 153～157 ページに前出）。これらのほかに、全学科共用の応用物理実験室を設けている（資料 8-1-①-8）。

各学科には、学習アトリエ（資料 8-1-①-9）を設置している。これは、レポート作成や卒業研究等を行うための部屋で、机・椅子・パソコンを備えている。

一般科目教員室前、物理実験室前及び各専門学科には、コラボレーションゾーン（資料 8-1-①-9）を設置している。そこには机と椅子が整備され、自主学習や教員との交流の場として機能している。建築学科では、コラボレーションゾーンを活用して各種ゼミナールや卒業研究を行なっ

ている（資料 8-1-①-9）。

6) 情報教育施設

情報教育施設は、資料 8-1-①-10~11のように整備している（観点 7-1-②参照，資料 7-1-②-3，152ページに前出）。また，本施設は，学内LAN幹線接続拠点であるとともに，インターネット受発信の窓口機能を有し，本校の情報通信上，重要な役割を果たしている。

7) 語学学習のための施設

英語学習ソフトを利用してリスニング，スピーキング，リーディングの学習を行うためのe-L教室を，管理棟 3階に設置している（資料 8-1-①-12）。

8) 図書館

閲覧室，視聴覚教室，ゼミナール室，書庫を備えた図書館を設置している（資料 8-1-①-13，観点 7-1-②参照）。その他，視聴覚教材，インターネットを利用した学習や文献検索も利用できる。

9) ものづくりセンター

本センターは，機械加工及び熱造形エリアにゾーンニングされ，テクニカルサポートルーム，旋盤，フライス盤等の工作機械，アーク溶接機等の溶接機械を備えている。本センターは，専門学科の実験実習，教材製作，ロボコンマシン製作の他，地域連携にも利用している。利用状況を資料 8-1-①-14~15に示す。

10) 地域共同テクノセンター

リエゾン室や技術相談室，共同研究に利用可能な実験室を備えた地域共同テクノセンター（資料 8-1-①-16）を設置し，産官学連携の推進と共同研究を通して卒業研究並びに特別研究の活性化を図っている。資料 8-1-①-17に利用実績を示す。

11) 福利厚生施設

福利厚生施設として，食堂を配置した白砂会館と高砂会館を備えている（資料 8-1-①-18）。これらは，職員の厚生施設として整備されたものであるが，クラブ・同好会の課外活動等の合宿場所等として有効に利用している（資料 8-1-①-19）。しかしながら，高砂会館は老朽化しており，運営会議の整備計画の中で検討している。飲料，軽食，文房具を販売する売店は講義棟近くの中庭に設置し，学生の利便を図っている（資料 8-1-①-18）。

12) 自習・休憩設備

学生の自習学習や休憩場所として，前述のコラボレーションゾーン，図書館情報センターを開放している。

13) 施設のバリアフリー化

校内の必要箇所にスロープ，エレベータ及び身体障害者用トイレ等を設置している（資料 8-1-①-20）。

14) 施設・設備の管理

運営会議の決定事項を基に，総務課が施設関連予算の要求・施設改修・修理業務を行っている。また，法令等に基づく施設・設備の点検及び本校職員等による，清掃，自主点検を行っている。

資料 8-1-①-1

高等専門学校設置基準との比較

		基準面積	本校面積
校地	定員上の学生1人当たり 10 m ²	10,000 m ²	95,558 m ²
校舎	入学定員を5学級に編成する場合	8265 m ²	44916 m ²

(出典 施設係資料)

資料 8-1-①-2

本館



新講義棟



専攻科棟



(出典 総務部資料)

資料 8-1-①-3

陸上競技場



野球場



ハンドボールコート



テニスコート



プール



第一体育館



第二体育館



武道場



(出典 総務部資料)

資料 8 - 1 - ① - 4

教室



合同講義室



(出典 総務部資料)

資料 8-1-①-5 合同講義室 (備品リスト)

設置場所	資産名称	規格
合同講義室	液晶プロジェクタ	マツタデンキ TH-L797JX
	機器収納ラック	マツタデンキ EIA-1400HE
	ミキサー	マツタデンキ WR-X02
	MDデッキ	松下 SJ-MD150
	カセットデッキ	ヤマハ KX-T900
	受信機	マツタWX-4020, WX-D4000
	A Vセレクタ	松下 RP-AV600
	ビデオ再生装置	松下 NV-HS10
	DVD再生装置	松下 DVD-RV35K
	LDデッキ	パナソニック CLD-313
	電源制御ユニット	松下 WU-L61
	アンプ	マツタデンキ WP-C104
	アナログプレーヤー	ビクター QL-Y44F
	ワイヤレスマイクロホン	パナソニック WX-4212
	ワイヤレスマイクロホン	パナソニック WX-4212
	マイクロホン	パナソニック WX-4300B
	マイクロホンスタンド	TOA ST-310F
	マイクロホンスタンド	松下 WN-275
	教壇	ライオン 2020*1220*200
	学生机	AICHI SCM-220-1T
	教卓	ライオン 516-23 No.136
	講演台	ライオン 516-27 No.105
	OHP	3M 2770T
	OHP台	ウチダ OT-100S
	音楽用五線紙黒板	パナソニック 片面グリーン5 線譜4段 片面無地ホワイト 900×1800
	メインスピーカー	パナソニック WS-AT80
	メインスピーカー	パナソニック WS-AT80
	ピアノ	ヤマハ G3E
	ピアノ	ローランド KR-577
	保管庫	1700X1250X1600
	保管庫	ギター用 2450X450X1800

(出典 学生課教務係資料)

資料 8-1-①-6 選択教室, 講義室 (備品リスト)

設置場所	機器等名称	規格
選択教室 1	液晶プロジェクタ	ナショナル TH-750
	A V ラック	パナ工業 CQ-8031
	ビデオデッキ	ビクター HRDS1
選択教室 2	液晶プロジェクタ	ナショナル TH-750
	A V ラック	パナ工業 CQ-8031
	ビデオデッキ	ビクター HRDS1
選択教室 3	液晶プロジェクタ	ナショナル TH-750
	A V ラック	パナ工業 CQ-8031
	ビデオデッキ	ビクター HRDS1
講義室 1	液晶プロジェクタ	マツダデンキ TH-L501J
	ラック	マツダデンキ KB-1200
	ビデオデッキ	東芝 A-JS9
	LD デッキ	パナソニック LD-W1
	DVD 再生装置	松下 DVD-RV35K
	A V コントロールアンプ	パナソニック SU-AV100
	A V セレクタ	パナソニック RP-AV600
	OHP	3M 2770T
講義室 2	液晶プロジェクタ	ナショナル TH-750
	テレビ	東芝 29S77
	ラック	マツダデンキ KB-1200
	ミキシングパワーアンプ	パナソニック SU-AV505Z
	ビデオデッキ	東芝 A-J7
	DVD 再生装置	松下 DVD-RV35K
	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80
	メインスピーカ	パナソニック WS-AT80
講義室 3	液晶プロジェクタ	ナショナル TH-750
	テレビ	東芝 29S77
	A V ラック	オーロラ
	ビデオデッキ	パナソニック NV-VP51S-S
	OHP	コクヨ J-HP-A103
	OHP 台	ウチタ 0T-100S

(出典 学生課教務係資料)

資料 8 - 1 - ① - 7

物理実験室



化学実験室



(出典 総務部資料)

資料 8 - 1 - ① - 8 応用物理実験室



(出典 総務部資料)

資料 8-1-①-9 コラボレーションゾーン，学習アトリエ等の配置

学習アトリエ



コラボレーションゾーン



卒研アトリエ (建築学科)



(出典 総務部資料)

資料 8-1-①-10 図書館・情報教育センター端末室



第1端末室
Terminal Room 1



第2端末室
Terminal Room 2

(出典 平成 18 年度学校要覧)

資料 8-1-①-11 図書館・情報センター

設置場所	機器名称	台数
第一端末室	教師用端末, DELL DIMENSION 4300S	1台
	学生用端末, 富士通FMV-C600	50台
	液晶プロジェクタ, DELL 5100MP	1台
	A4モノクロレーザープリンタ, 富士通 Printia LASER XL-5350	2台
第二端末室	教師用端末, DELL DIMENSION 4300S	1台
	学生用端末, 富士通FMV-C600	45台
	液晶プロジェクタ, SANYO LP-XG250	1台
	A4モノクロレーザープリンタ, 富士通 Printia LASER XL-5350	2台
インターネットルーム	学生用端末, DELL OptiPlex GX520	13台
	A4レーザープリンター, EPSON LP-1900	1台
マルチメディアルーム	デスクトップパソコン, DELL DIMENSION 8400	1台
	ノートパソコン, SONY PCG-F57 BP	1台
	Apple iBook M8599J-C	1台
	A0インクジェットプリンタ, CANON ImagePROGRAF AW7200	1台
	A3カラーレーザープリンタ, RICOH IPSiO Color 5100	1台
	A3スキャナ, EPSON ES-6000H	1台
	液晶プロジェクタ, 三菱 LVP-X300	1台
	80インチ電動スクリーン	1台
	HDD&DVDレコーダ, NEC AX300	1台
	DV&S-VHSビデオデッキ, SONY WV-DR9	1台
	DVD-RW/Rデッキ, Pioneer DVR-1000	1台
	Hi8ビデオデッキ, SONY EV-PR2	1台
MDレコーダ, SONY MDS-DL1	1台	
ホストマシン室	UNIX ユーザー認証, Fujitsu Sseries	1台
	メールサーバ, Fujitsu	1台
	NAS, DELL Power Vault 745N	1台
	DNSサーバ, SUN Microsystems COBALT QUBE3	1台

(出典 図書館情報センター資料)

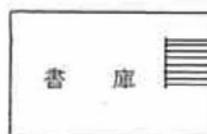
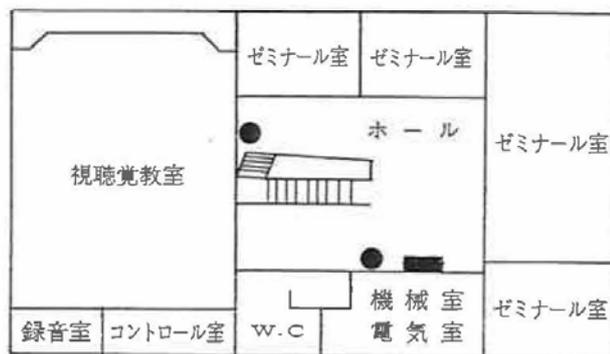
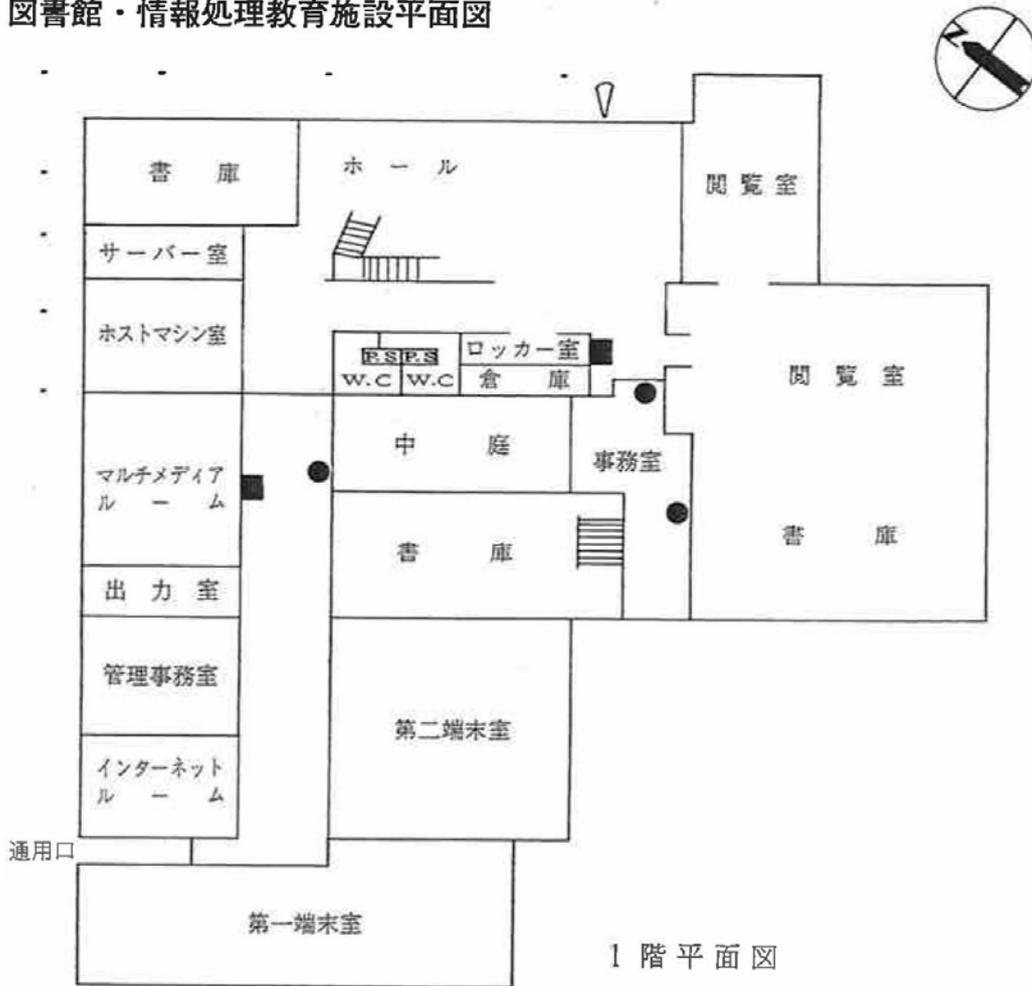
資料 8-1-①-12 e-L 教室 (設備リスト)

品 名	規 格	数 量	備 考
教師用端末	DELL OPTIPREX GX520	1 台	
学生用端末	DELL OPTIPLEX 745	4 9 台	
プロジェクター・スクリーン	SANYO PROxtraX	1 式	
スピーカー	TOA Wireless Amplifier	1 台	
使用ソフト	アルク・ネット・アカデミー 「スーパー・スタンダード・ コース」 (アルク社)		センター内 のサーバー 上にある 英語学習用 ソフト

(出典 総務課企画協力係資料)

資料 8 - 1 - ① - 13 図書館平面図

図書館・情報処理教育施設平面図



2階平面図

(出典 平成 18 年度学生便覧 p. 98)

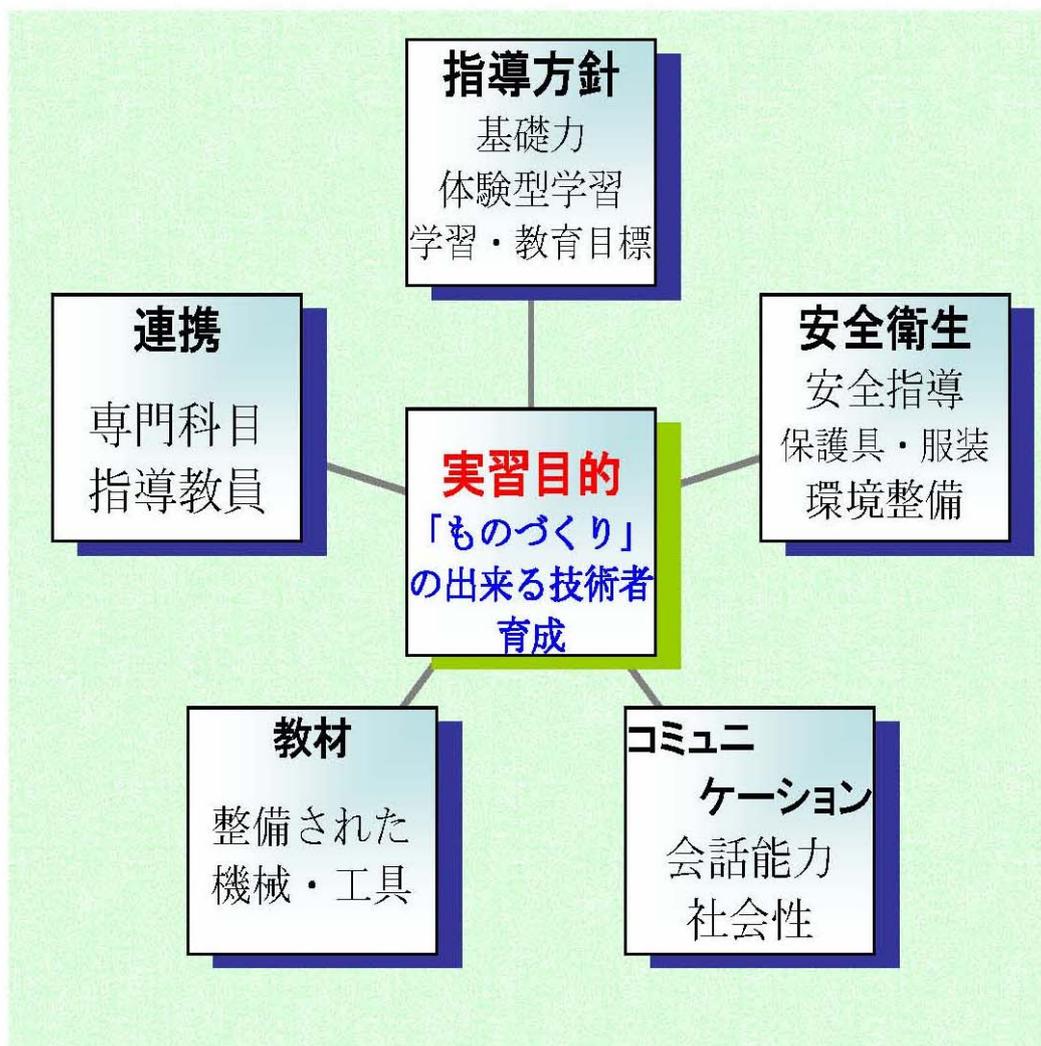
資料 8-1-①-14 ものづくりセンターの支援体制

【実験実習授業支援の進め方】

機械工作実習授業支援実施学科学年

機械工学科 1年生（通年）	電気情報工学科 1年生（前期）
機械工学科 2年生（通年）	
機械工学科 3年生（通年）	電子制御工学科 2年生（通年）
機械工学科 4年生（年間・随時）	

実験実習授業担当教員との、実習計画・テキスト・ガイダンス・安全等について連携確認を行い、「実習目的」を達成できるように教育支援、技術指導を実施しています。



(出典 ものづくりセンターレポート p.5, H.19. 3)

資料 8-1-①-15 ものづくりセンターの実習内容

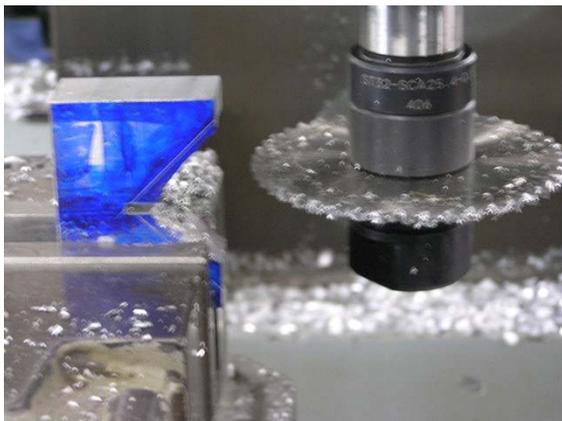
【機械工学科 2 年生 機械工作実習】

こんな実習テーマを実施しています

- ・ アーク溶接 強度試験片
- ・ TIG 溶接
- ・ 手仕上げ 定盤のすり合わせ
- ・ 測定 各種測定器の扱い
- ・ 電気実験 回路等
- ・ 旋盤 ネジ切削 ボルト, ナット
- ・ NCフライス盤
- ・ 総合実習 トースカン (設計~製作)



旋盤四ツ爪チャック芯出し作業



メタルソーによる溝入れ加工



TIG 溶接 (アルミ溶接)



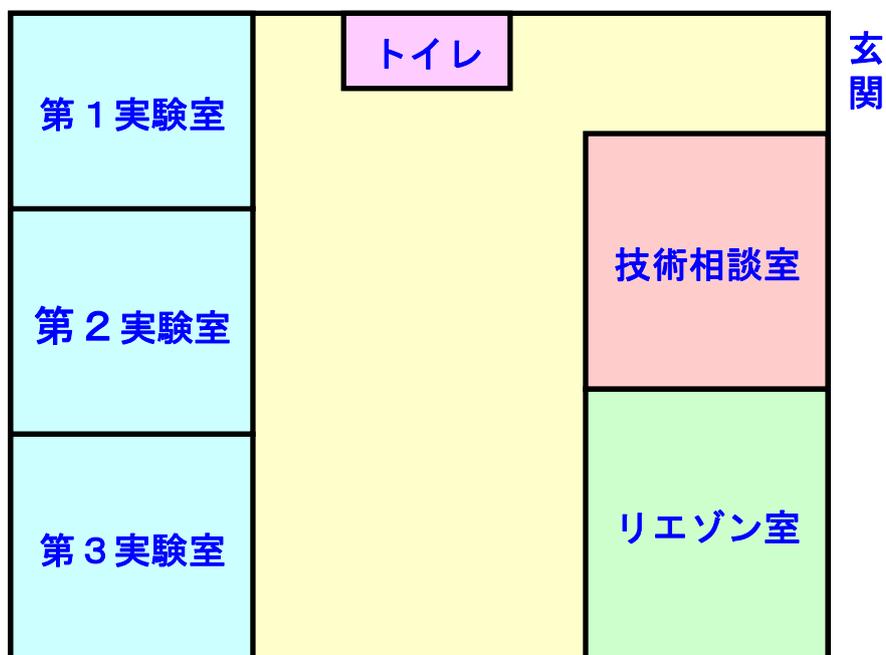
鍛造による野書き針製作



(出典 ものづくりセンターレポート p.9, H.19. 3)

資料 8 - 1 - ① - 16 地域共同テクノセンター

実験室等の配置



備品リスト

写真機	ビデオカメラ
ファックス	パーソナルコンピュータ
ビデオカメラ	三次元測定機
オーバーヘッドプロジェクター	非接触三次元形状入力機
プロジェクター	ハイビジョンビデオサーバ
ビデオコーダー	センサー制御装置
カラーディスプレイ	モータライズ回転ステージ
スクリーン	モータライズ直動機構
両袖机	映像入力装置
OA机	マルチフィーラ計測メカ装置
フィーラ式変位センサ	ハイビジョン監視装置
リモート I/O	映像出力装置
ビデオカメラ	リモートコントロール制御装置
開発用ハードウェア	赤外線熱画像処理装置
ディバグ	プロジェクター
HDVハイビジョンカメラ	プリンター
リモート I/O	電子計算機
制御専用PC	液晶プロジェクタ
制御回路モジュール	テレビ
液晶プロジェクションテレビ	カラーディスプレイ

(出典 米子高専 Web ページ, 総務部資料)

資料 8-1-①-17 地域共同テクノセンターの利用実績

18年度の利用状況

月	テクノセンター関係	校内会議	その他
4	3	32	1
5			
6	1	1	
7	2		2
8	2	1	1
9	1		
10		1	1
11			
12		1	5
1	2		2
2	1		1
3	1		5
計	13	36	18

(出典 地域共同テクノセンター資料)

資料 8 - 1 - ① - 18 福利厚生施設

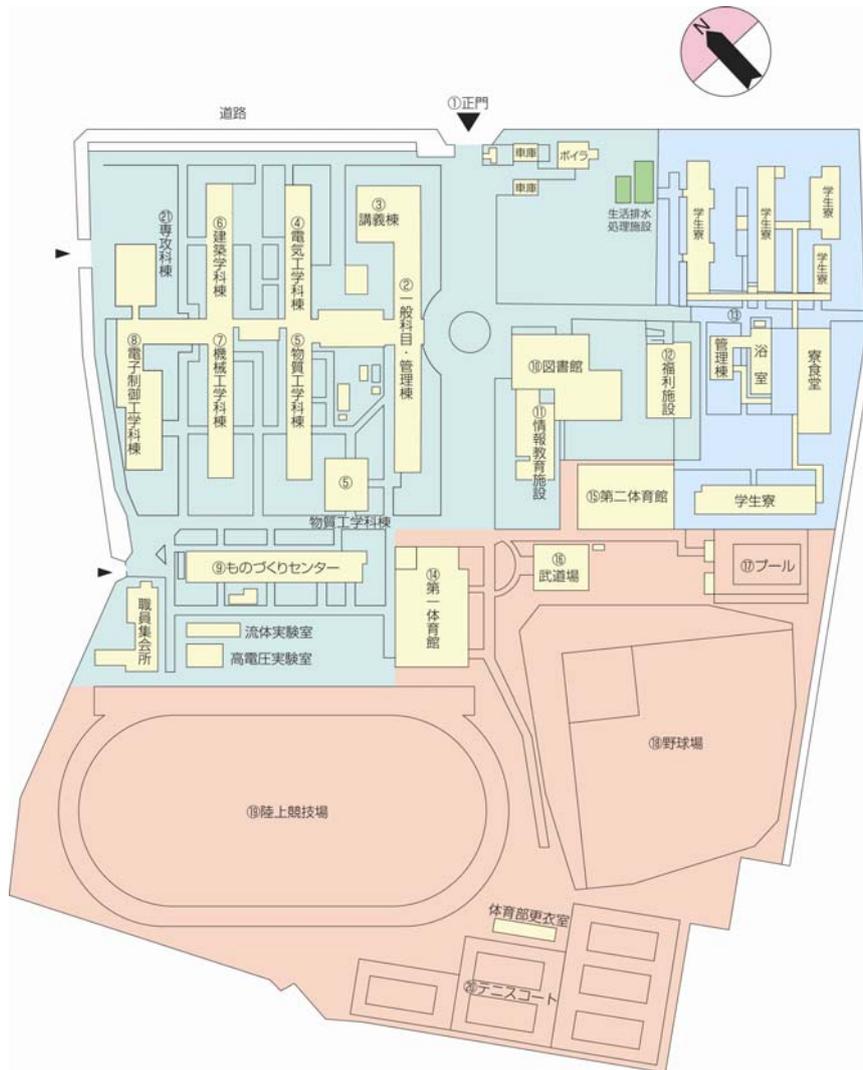
白砂会館



高砂会館



売店



①	Main Gate	⑪	Computer Center
②	Administration Office & General Education Building	⑫	Welfare Facilities
③	Lecture Building	⑬	Dormitory
④	Electrical Engineering Building	⑭	Gymnasium 1
⑤	Materials Science Building	⑮	Gymnasium 2
⑥	Architecture Building	⑯	Gym for Martial Arts
⑦	Mechanical Engineering Building	⑰	Swimming Pool
⑧	Electronic Control Engineering Building	⑱	Baseball Ground
⑨	Mechanical Practice Training Center	⑲	Track & Field
⑩	Library	⑳	Tennis Court
		㉑	Advanced Engineering Course Building

(出典 会計課施設係 Web ページ)

資料 8 - 1 - ① - 19 福利厚生施設の利用実績

合宿人数一覧表 (GW) 平成18年度 (4/29~5/6)

	宿泊場所	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6		合計
バレーボール	白砂1B	4	5	5	5	6	6	6	6		43
山本英・松本正											
バスケットボール	白砂3・4	11	11	10	10	10	10				62
西尾・森田											
ソフトテニス	高砂3	5	5	5	5	5	5	5	5		40
越智・湯原・大塚宏											
卓球	高砂1	18	18	19	18	19	18	14	13		137
河野・山本幸・松本幸・											
野球(高野)	白砂1A		5	5	5	5	5	5	5		35
藤田・浅倉・能登路・北林・大庭											
サッカー	白砂1A	4	4	4	2	2	2	4	4		26
田中・兼子・千葉											
ラグビフットボール	白砂2	12	12	12	12	11					59
宮田・河添・岡部											
ハンドボール	高砂12	2	2	2	2	2	2	2	2		16
蔵岡・権田・小川和											
テニス	白砂1B	1	1	1	1	1	1	1	1		8
香川・足立新・池田彰											
バドミントン	白砂1B	1	1	1	1	1	1	1	1		8
川邊・藤田・矢壁											
合計		58	64	64	61	62	50	38	37		434

(出典 学生課学生係資料)

資料 8 - 1 - ① - 20 施設のバリアフリー化

車椅子対応エレベータ



身障者用トイレ



玄関前スロープ



(出典 総務部資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校が編成した教育課程の実現にふさわしい施設・設備を整備し、有効に活用している。その根拠として、校地、体育施設、教室等必要な施設を計画的に整備している。また、設備に関しては、授業の方法を工夫しやすいように、スクリーン、プロジェクタ等の視聴覚設備を備えた教室を多数に整備している。さらに、校内の必要箇所にはスロープ、エレベータ及び身体障害者用トイレ等を整備し、バリアフリー化している。一方、福利厚生施設である高砂会館は老朽化が進んでおり、整備計画の中で改築等の対策を講じる必要がある。

観点 8-1-②： 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

情報教育施設を拠点に、校内ギガビットネットワークを敷設、全室に100Mbpsの情報コンセントを設置し、教職員や学生が情報ネットワークを利用できるようにしている。教育電算システムとして、OSにMicrosoft Windows XP Professional、ソフトウェアとしてMicrosoft Officeほか教育に必要なソフトウェアをバンドルしたPCを中心とするシステムを備えている(資料8-1-①-11, 185ページに前出)。

また、図書館においては、マルチメディアルーム、インターネットルームや図書館閲覧室内に常時使用可能な情報検索用PCを設置して学生の利便を図っている(観点7-1-②参照)。

平成18年度に、情報セキュリティの包括的なガイドラインとなる『米子工業高等専門学校情報セキュリティポリシー』(資料8-1-②-1, 別添資料8-1-②-1)を策定し、最高情報セキュリティ責任者である校長の下に、情報セキュリティ委員会を設置した。各部署単位で資料8-1-②-2のように組織化し、情報に関する安全確保を行なっている。

本年度中には、ネットワーク関連ハードウェアを全面的にリプレイスし、ネットワーク環境を整備する予定である(資料8-1-②-3)。

毎年4月に、新入生及び編入学生に対して、情報教育施設の利用方法の説明とネチケット教育を実施している(資料8-1-②-4)。低学年において情報基礎の授業を情報教育施設内で行うほか、学生の自習など授業時間外にも情報教育施設を開放して対応している(資料8-1-②-5)。また、長岡技術科学大学の電子ジャーナルデータベースコンソーシアムに参加し、卒業・特別研究学生が文献検索を自ら行うことができるように環境を整えている(資料8-1-②-6)。そのほか、ネットワークを利用して、シラバスの公開、成績報告等の教育情報の交換、各種事務処理やメールによる各種連絡等を行なっている。

資料 8-1-②-1 情報セキュリティポリシー

第 1 部 総則

1.1 ポリシーの位置付け

(1) ポリシーの位置付け

本ポリシーは、「政府機関の情報セキュリティ対策の強化に関する基本方針（平成17年9月15日付情報セキュリティ政策会議決定）」に基づき、米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）が情報セキュリティの確保のために採るべき対策、及びその水準を更に高めるための対策の基準を定めたものである。

情報セキュリティ対策の包括的な規定として、本校の情報資産をあらゆる脅威から守るために必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組むこととする。また、本校の全ての教職員（常勤職員、非常勤職員及び派遣職員等）は、この目的を果たすため、ポリシーの実施に責任を負うとともに、ポリシーを尊重し、遵守しなければならない。

(2) ポリシーの改訂

情報セキュリティの水準を適切に維持していくためには、状況の変化を的確にとらえ、それに応じて情報セキュリティ対策の見直しを図ることが重要である。このため、本ポリシーの見直しを定期的に行い、必要に応じて項目の追加やその内容の充実等を行うことによって、その適用性を将来にわたり維持するものとする。また、政府機関の統一基準が更新された場合、その内容を本校の対策基準に適切に反映させるものとする。

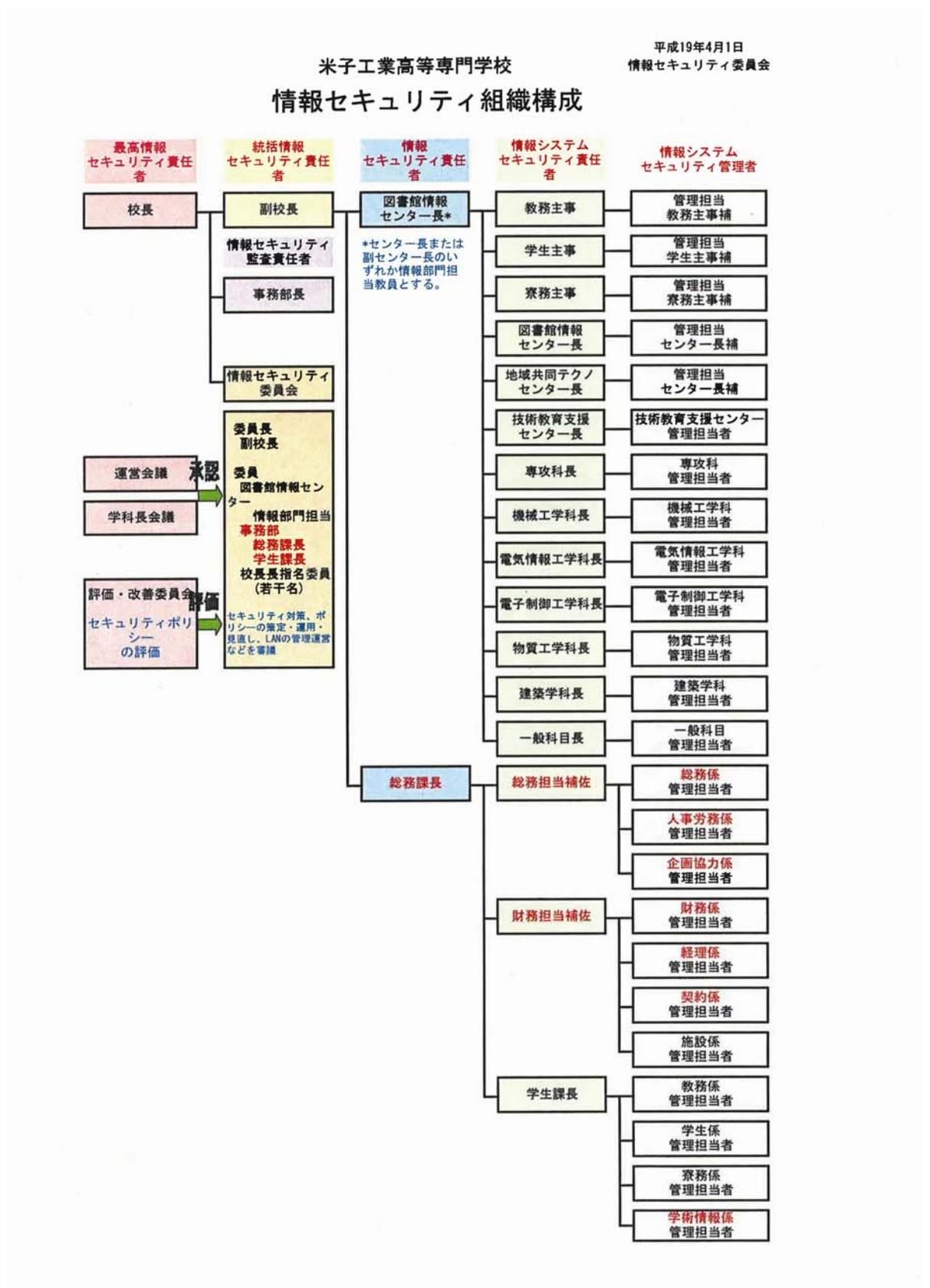
(3) 法令等の遵守

情報及び情報システムの取扱いに関しては、法令及び規制等（以下「関連法令等」という。）においても規定されているため、情報セキュリティ対策を実施する際には、本ポリシーのほか関連法令等を遵守しなければならない。なお、これらの関係法令等は情報セキュリティ対策にかかわらず当然に遵守すべきものであるため、本ポリシーでは、あえて関連法令等の遵守について明記していない。また、情報セキュリティ対策に係る内容について定めた既存の政府決定等についても同様に遵守すること。

（後略）

（出典 情報セキュリティポリシー）

資料 8-1-②-2 情報セキュリティに関わる組織図



(出典 情報セキュリティポリシー)

資料 8 - 1 - ② - 4 利用方法説明の際の配布書類

図書館情報センター情報教育施設利用の手引き

図書館情報センター（以下センター）では、情報処理（プログラミングや設計製図、情報検索など）の授業を行う施設を維持、管理しています。また学習目的である場合、授業時間外においても学生が施設を利用することができます。この手引きではセンターの施設利用に関して必要最低限の規則と手順について説明します。

1. センター施設利用の規則

センターの施設は教育・研究の目的で利用するものですから、以下の行為は禁止します。よく熟読し、遺漏のないよう心がけて下さい。仮に以下の事項に違反するような重大な事故があった場合は、対象学生のアカウントの使用停止などの措置をとることもあります。その場合、情報処理関連授業の単位取得などに支障をきたしますので、十分に注意してください。

- ユーザ ID の第三者への譲渡、貸与
- パスワードの第三者への開示
- プライバシー及び第三者の名譽を傷つける行為
- 虚偽の情報の公開
- 他人を詐称する行為
- ネットワークの運用に支障を及ぼすような行為
- システムの不正な利用または、それを助ける行為
- 計算機資源を不当に占有または、浪費する行為
- 他者のプログラムやデータ等を改変または破壊する行為
- 公序良俗に反する行為
- 営利を目的とした行為
- 通信販売を利用する行為
- 著作権等の法令に定める権利の侵害
- その他法令および社会慣行に反する行為

2. パソコンのログイン・シャットダウン

2.1. ログイン ID 及びパスワードの交付

センターでは、皆さんが本校へ入学された時点でセンターの施設を利用するためのログイン ID とパスワードを準備し、交付します。皆さんには卒業までの間、この ID とパスワードを使って施設を利用してもらいますが、交付した直後から ID とパスワードの管理責任は学生本人に移行します。パスワードは管理者でも復旧出来ませんので、忘失しないように十分注意してください。

2.2. パソコンのログイン

パソコンの電源を投入するとログイン画面（写真

1)が表示されます。ユーザー名(U)及びパスワード(P)のテキストボックスに、交付されたログインIDとパスワードを入力して下さい。次にログオン先(L)が「JOHO」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてログインしてください。

2.3. パソコンのシャットダウン

端末を使用した後は必ず電源を切ってください。Windows XP のスタートメニュー（写真 2）から「シャットダウン」ボタンをクリックして、シャットダウンの画面を表示します。「実行する操作・・・」が「シャットダウン」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。自動的に電源が切れます。



写真 1. センター端末のログイン画面



写真 2. スタートメニュー



写真 3. センター端末のシャットダウン画面

3. 時間外の施設利用法

3.1. 利用可能な時間

正規の授業以外の時間でセンター施設が利用可能な時間は、原則的に平日の昼休前と放課後です。また、この時間内でもセンター施設を使った授業が実施されている場合は、利用できません。

3.2. 時間外利用登録

センターの端末は常時、管理者の管理下にあり、正規の授業時間以外は下記の時間外利用登録をしないと端末へログイン出来ません。時間外に端末を利用する場合は、必ず時間外利用登録の手続きを行ってください。

センター管理室前の廊下に設置された端末（写真 4）から登録を行います。まず利用したい端末室が空いていることを確認します。以下は第一端末室の端末を利用する場合について説明します。

利用登録のトップページ（写真 5）から「第一端末室」のボタンをクリックすると、端末室のレイアウト画面（写真 6）が表示されます。利用可能な端末のボタンをクリックして、登録画面（写真 7）を開きます。登録画面の「利用番号」のテキストボックス内に交付された ID を入力し、適切な「使用終了予定時刻」をプルダウンから選択し、「使用申請」ボタンをクリックしてください。以上で手続きは完了です。

4. その他

4.1. メール利用について

センターでは学術的な利用を目的として学生にメールアドレスも交付しています。その理由により、商用サイトのユーザー登録等に使うことは禁止されています。

4.2. ファイル共有ソフトなどの使用禁止

近年、Windy などのファイル共有ソフトの利用により個人情報や機密情報の漏洩やウイルス感染など重大

事故が発生しています。本校のネットワークは学術目的のインフラを通じてインターネットに接続しており、利用方法も随時監視されています。ファイル共有ソフトの使用は禁止していますので、これを厳守してください。また、外部からのデータを利用する場合は、ウイルス等を持ち込まないように、入念にチェックしてください。



写真 5. 時間外利用申請トップページ



写真 6. 第一端末室のレイアウト画面



写真 4. 時間外利用登録用端末

4.3. 参考

不明な点などは以下のサイトを参考にしてください。サイトを確認しても解決しない場合は、学級担任や指導教官を通じて、図書館情報センタースタッフに問い合わせをしてください。

校内ホームページ
【端末室からアクセスする場合】
<http://www.student.yonago-k.ac.jp/>
【研究室などからアクセスする場合】
<http://hohokiyoku.yonago-k.ac.jp/>

（出典 図書館情報センター資料）

資料 8 - 1 - ② - 5 センター時間外利用案内

端末室等利用上の注意

平成15年4月17日
米子高専 システム化技術教育・開発センター
情報教育部門

利用時間と利用申請方法

原則として 8:45～17:00

第一端末室・第二端末室

● 8:45～17:00

時間割上空いていれば、受講している授業以外の時間でも利用可能です。使用する場合は、利用学生が「オープン利用願」を管理室宛に提出して下さい。
「オープン利用願」は、情報教育センター廊下に設置された専用マシンか、右下のリンクから利用申請してください。

「オープン利用願」を提出するには → [ここをクリック](#)
*「オープン利用願」を提出しないと端末にログオンできません。

● 17:00～22:00

教科担当教官の立会い・監督があれば、利用可能です。
端末室は施錠していますが、教科担当教官へ鍵を貸し出します。担当教官は利用予定を、あらかじめ管理室までお知らせください。

マルチメディアルーム・インターネットルーム

教科担当教官が利用1週間前までに校内ホームページから予約して下さい。教科担当教官へ部屋の鍵を貸し出します。

鍵の貸し出し・管理について

以下の要領で各部屋などの鍵を教科担当教官へ貸し出します。

廊下にある保管庫の鍵

フロッピーディスク用の保管庫の鍵は、管理室から担当教官へ貸し出します。

第一端末室、第二端末室の鍵**17:00以降に利用する場合****8:45～17:00は開錠・17:00以降は施錠**

- 管理室から担当教官へ鍵を貸し出します。
- 担当教官の立会い・監督のもとに利用願います。
- 利用は22時までとし、それ以降の利用を禁じます。
- 使用後は担当教官が端末室と建屋の出入口の施錠をしてください。
- 鍵の返却は翌日をお願いします。

マルチメディアルーム・インターネットルームの鍵

- 管理室から担当教官へ鍵を貸し出します。
- 使用後は施錠してください。
- 機器の持ち出しは厳禁です。

終日施錠**17:00以降に利用する場合**

- 担当教官は、利用者の監督および建屋出入口の施錠もお願いします。
 - 利用は22時までとし、それ以降の利用を禁じます。
 - 鍵の返却は翌日をお願いします。
-

(出典 図書館情報センターWeb ページ)

資料 8-1-②-6 図書館情報センター 蔵書検索サイト一覧

論文検索等のサイト一覧

- 論文検索
 - GeNii 国立情報学研究所 学術コンテンツポータル
 - CiNii* NII 論文情報ナビゲータ
 - WebcatPlus NII 電子図書館
 - KAKEN 科学研究費成果公開サービス
 - NII-DBR 学術研究データベース・リポジトリ
 - KANON* 長岡技科大 新外国雑誌目次データベース
 - 国会図書館 雑誌記事索引

- 電子ジャーナル
 - Science Direct* 科学系雑誌の電子ジャーナル
 - JDreamII* 科学技術・医学電子データベース
 - J-STAGE JST (科学技術振興機構)

- データベース
 - JISC-日本工業標準調査会
 - 失敗知識データベース
 - 日本統計協会

(出典 図書館情報センター資料)

(分析結果とその根拠理由)

教育，研究に利用される情報ネットワークを適切に整備し，十分なセキュリティを確保している。その根拠として，高速ネットワークを全校に構築し，情報セキュリティポリシーに基づいて安全性を確保した上で，情報インフラを用いた研究・教育を行っている。一例として，情報処理教育，学内の掲示，シラバス等の教育情報の閲覧，成績報告などに情報ネットワークを利用している。

観点 8-2-①： 図書，学術雑誌，視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備され，有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

本校には，学生の学習用から研究用まで多くの図書と，約200点の視聴覚資料を備えている。また，書庫には，多くの学術雑誌を所蔵している。資料 8-2-①-1 に蔵書冊数及び分野別一覧を示す。蔵書は，専門分野毎に系統的に整備している。各種利用統計を資料 8-2-①-2 に示す。図書貸出数も学生 1 人当たり約10冊であり，有効に利用している。新刊図書の購入は，教職員・学生からの希望

図書申込や図書委員の学生が定期的を実施するブックハンティングを中心に行なっている（資料 8-2-①-3）。また、図書館情報総合管理システムにより、図書の貸出・返却を行うとともに、オンライン検索も整備し、ILLによる図書の相互貸借や文献複写を可能としている。

学生便覧に「図書館の利用」を記載し（資料 8-2-①-4）、第 1 学年の学生に対しオリエンテーション（資料 8-2-①-5）を行って、利用方法・文献資料検索等について説明を行なっている。

図書館情報センターでは、図書館のPRを目的に「としょぶらり」（資料 8-2-①-6）を年 2～3 回発行するとともに、「米子工業高等専門学校研究報告」（資料 8-2-①-7）を編集発行している。研究報告については、投稿規程を定めている（資料 8-2-①-8）。また、学生が図書に触れる機会を作るために、校内読書感想文・エッセイコンクール（資料 8-2-①-9）を行っている。

一方、本校の図書館建屋は昭和 48 年に建造したもので老朽化が進んでおり、蔵書の増大に伴い書庫が不足するなど狭隘化が進んでいる。平成 15 年に専門図書を中心に内容が陳腐化するなど学生教育に相応しくない図書を廃棄することにより、書庫不足に関する当面の問題を解決した。なお、老朽化や今後の蔵書の増大による狭隘化の対策は運営会議の整備計画の中で検討している。

資料 8-2-①-1 蔵書冊数及び分野別一覧

平成 18 年 3 月 31 日現在

区 分		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	計
図書の冊数	和書	3286	3535	6505	6573	7785	14529	817	2289	2654	10898	58871
	洋書	313	485	209	151	193	333	9	68	629	2356	4746
	計	3599	4020	6714	6724	7978	14862	826	2357	3283	13254	63617
年度受入冊数	和書	39	88	68	130	257	326	9	60	64	224	1265
	洋書	0	23	0	2	2	0	0	0	0	5	32
	計	39	111	68	132	259	326	9	60	64	229	1297

(出典 図書館情報センター資料)

資料 8-2-①-2 平成 17 年度図書館統計

図 書 館 統 計

1. 平成17年度利用状況

(1) 開館日数230日(時間内204日・時間外192日)

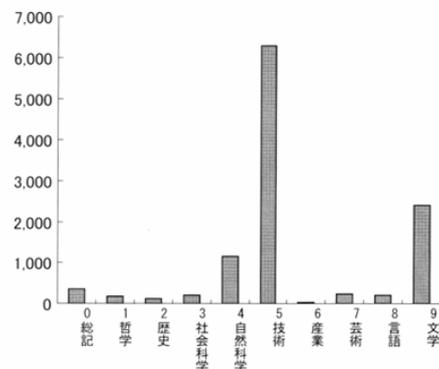
(2)入館者数・貸出者数・貸出冊数

区 分	学 生	職 員	校外者	合 計
学生・教職員数	1,056 人	127 人	29 人	1,212 人
入 館 者 数	46,175 人		236 人	46,411 人
図 書 貸 出 者 数	5,594 人	202 人	128 人	5,924 人
図 書 貸 出 冊 数	10,324 冊	417 冊	443 冊	11,184 冊



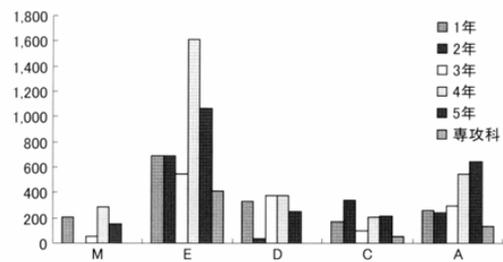
2. NDC分類別貸出冊数・貸出率

分 類	貸出冊数	順位	分 類	貸出率(%)
0 総記	339	1 位	5 技術	56.4%
1 哲学	184	2 位	9 文学	21.4%
2 歴史	125	3 位	4 自然科学	10.3%
3 社会科学	209	4 位	0 総記	3.0%
4 自然科学	1,150	5 位	7 芸術	2.1%
5 技術	6,308	6 位	8 言語	1.9%
6 産業	21	7 位	3 社会科学	1.9%
7 芸術	233	8 位	1 哲学	1.6%
8 言語	217	9 位	2 歴史	1.1%
9 文学	2,398	10 位	6 産業	0.2%
合 計	11,184	合 計		100.0%



3. 平成17年度学生利用状況(学年・学科別貸出冊数)

	M	E	D	C	A	合計
1 年	204	690	332	166	264	1,656
2 年	2	693	39	341	243	1,318
3 年	57	548	380	100	294	1,379
4 年	284	1,611	380	207	544	3,026
5 年	154	1,063	255	216	645	2,333
専攻科		416		58	138	612
合計	701	5,021	1,386	1,088	2,128	10,324



4. 平成17年度学生利用冊数ベスト3

順 位	貸出回数	書 名	著 者	出版社
1 位	23	灼眼のシャナ 1-10巻、0巻(電撃文庫)	高橋弥七郎	メディアワークス
2 位	17	空の境界 上・下巻(講談社ノベルス)	奈須きのこ	講談社
3 位	15	Missing: 合わせ鏡の物語(電撃文庫)	甲田学人	メディアワークス

(出典 平成 18 年度「としょぶらり」81 号 p.7)

資料 8-2-①-3 ブックハンティング

毎年、学生図書委員(25名)によるブックハンティングを5月に開催している。学生は本の学校(今井書店)にて、17時から1時間ほど書店内を回り、図書館に置いてほしい本を自由に選んでいる。予算は10万円としている。ブックハンティングで購入した本はすべて図書館に寄贈している。

ブックハンティング冊数

平成 18 年度

区 分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	計	
図書の冊数	和書	2	0	0	6	11	8	0	0	2	51	80

(出典 図書館情報センター資料)

資料 8-2-①-4 図書館利用案内

Ⅷ 図書館の利用

図書館は、皆さんのための施設です。図書館を有効に利用してください。

開館時間と休館日

平日 9時～20時（休業日は9時から17時）

土曜日 10時～15時（休業日は休館）

休館日 日曜日、国民の祝日、毎月末（図書整理日）、

年末・年始（12月28日～1月4日）

（閲覧室入口の図書館カレンダーを参考にしてください。）

閲覧

閲覧室では、閲覧室内の資料を閲覧できます。

貸出し

資料の貸出しを希望するときは、「学生証」を添えてカウンターで貸出しの手続きをしてください。

貸出冊数は1人3冊まで、期間は1週間以内です。ただし禁帯出ラベルの図書は貸出しできません。

夏季休業等長期休業のとき、あるいは卒研等で必要なときは特別貸出しを行います。

鳥取県立図書館及び米子市立図書館で所蔵する図書の利用

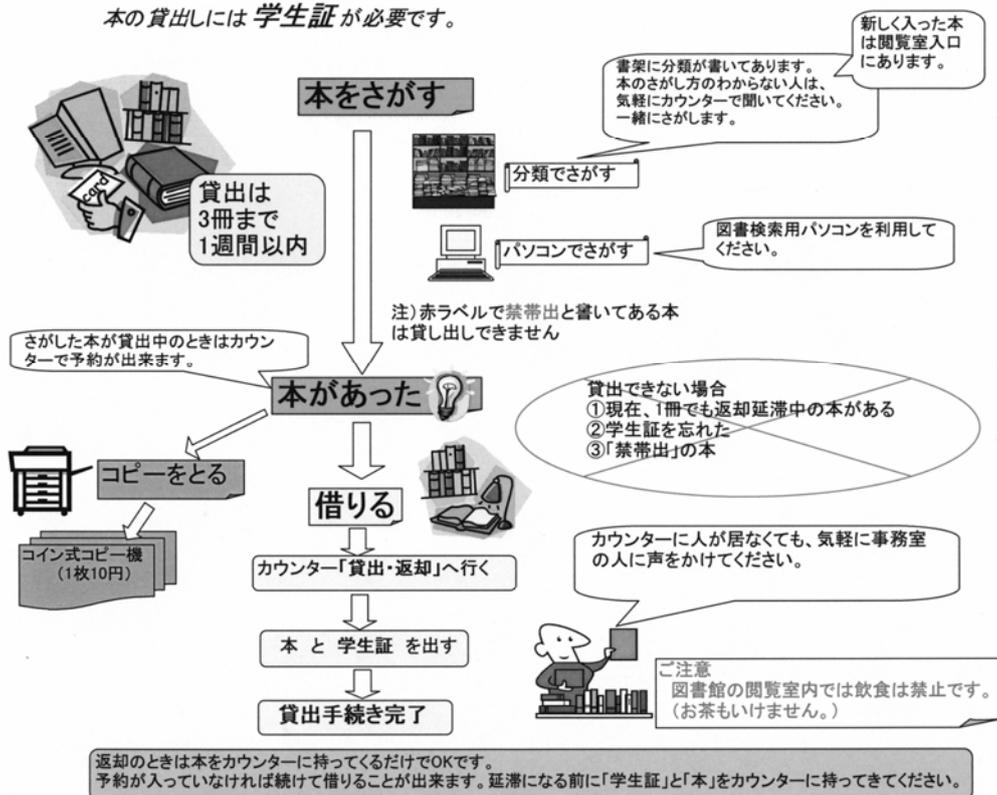
本校図書館を通じて、鳥取県立図書館及び米子市立図書館で所蔵する図書を借りることができます。借用を希望する人は、カウンターに申し込んでください。

（出典 平成18年度 学生便覧 p.18）

資料 8-2-①-5 1年次図書館利用オリエンテーション資料

新入生の皆さん 図書館へようこそ

本の貸出しには **学生証** が必要です。



としょぶらり

米子高専図書館情報センター報

ISSN 1344-5634

第 82 号

平成 19 年 1 月 31 日発行
米子工業高等専門学校
図書館情報センター

平成18年(第33回)校内読書・エッセイコンクール優秀作品発表

〈読書感想文の部〉

最優秀賞	建築学科3年	山本 麻実	「雪とパイナップル」から学んだこと
優 秀 賞	機械工学科5年	吉次 峻平	「猫の事務所」を読んで
〃	物質工学科5年	松原 祥子	「あめなる花をほしと云いこの世の星を花という」 ～ひのきとひなげし～
佳 作	電気情報工学科1年	岡本 俊樹	「僕の生きる道」を読んで
〃	物質工学科1年	上小谷 瞳	「ホスピス通りの四季」を読んで
〃	物質工学科1年	間瀬 一馬	「ありがとうは祈りの言葉」
〃	建築学科1年	香川恵理子	「自殺って言えなかった。」
〃	建築学科1年	山本 桃璃	「イツモ。イツマデモ。」

〈エッセイの部〉

最優秀賞	電子制御工学科1年	伊藤 夏織	私と筆
優 秀 賞	電気情報工学科1年	造田 美咲	その周りを
〃	電子制御工学科1年	関本 美咲	理想のレシピ～勉強編～
佳 作	物質工学科1年	福田 真菜	『「障害者」と街で出会ったら』
〃	建築学科1年	住友 美香	一人一人の大切さ
〃	建築学科1年	萩原 由也	尊敬

読 書 感 想 文 の 部

最優秀賞

「雪とパイナップル」から 学んだこと

建築学科3年 山本 麻実

命って何？

「生きる」ってどういうこと？

この「雪とパイナップル」という本を読んで、私は深く感銘を受けた。命の尊さと大切さを感じずにはいられなかったからだ。

私はこの春、大切な友人を交通事故で失った。そのことをきっかけに、「命の大切さ」について

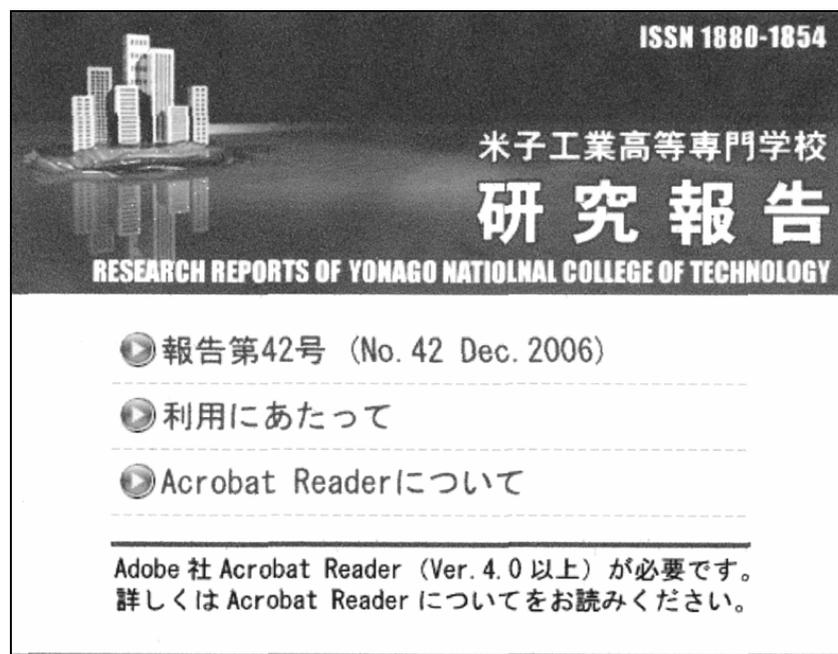
深く考えるようになってはいたのだが、この本を読んで、さらにたくさんの事を考えさせられた。

人ってなんてちっぽけな存在なんだろう。人間一人の命の重みなんて、大きな地球から考えてみれば、ほんの虫ケラぐらいでしかない。本の中で、チェルノブイリで起こった原発被害だって、ほとんどの者は知らなかったり、知らされていなかった。黒い雨の正体さえも、そこで暮らしている人々には知らされていなかったのだ。

実際、私の身近での出来事を考えても、そのことは感じられる。私の友人が交通事故にあった場所は、私の家からほど近いため、よく通る機会がある。私は、その場所を目にするたびに、その友人のことを思い出し、心が痛む。しかし、何も聞かされていない人々にとって、その場所は何の変哲もない場所であり、ガードレールが不自然に曲がっている理由なんて、気に掛ける人はいないのだろう。身近な例を挙げて考えると、悲しく寂し

(出典 平成18年度「としょぶらり」第82号 p.1)

資料 8 - 2 - ① - 7 米子工業高等専門学校研究報告



(出典 米子工業高等専門学校研究報告第 42 号)

資料 8 - 2 - ① - 8 米子工業高等専門学校研究報告投稿規程

米子工業高等専門学校研究報告に関する要項

(目的)

第 1 条 米子工業高等専門学校における学術研究及び調査に関する論文，資料を発表するため「米子工業高等専門学校研究報告」（以下「研究報告」という。）を発行する。

(発行)

第 2 条 研究報告は，原則として年 1 回発行するものとする。

2 研究報告の体裁は，A 4 版，2 段横組（和文・欧文），2 段縦組（和文）の混合編成とする。

(投稿資格)

第 3 条 投稿者は本校教職員を原則とする。

(投稿申込)

第 4 条 投稿を希望する者は，米子工業高等専門学校研究報告投稿申込書（別紙様式 1）を図書館情報センターに提出するものとする。

(公開)

第 5 条 研究報告は，電子媒体によって公開する。

(著作権)

第 6 条 掲載された論文及び資料の著作権は，原則として米子工業高等専門学校に帰属する。

2 著者が掲載された論文及び資料を利用する場合は，前項の規定に関わらず利用できるものとする。

3 前項の規定により著者が掲載された論文及び資料を利用する場合は，事前に利用申請書（別紙様式 2）を提出するものとする。

(著作者の責任)

第 7 条 掲載された論文及び資料の内容については，著者が一切の責任を負う。

(投稿原稿)

第 8 条 投稿原稿は原則として電子データによるものとする。

2 投稿原稿の種類は，論文及び資料とする。

(1) 論文とは，学生指導を含む教育，科学技術，人文，社会分野に関する研究成果を考察を交えて記述したもの。

(2) 資料とは，学生指導を含む教育，科学技術，人文，社会分野に関する事例，調査結果，試験結果，試作等得られたデータで資料的価値を有するもの。

3 投稿原稿は，他の著作物の著作権を侵害するものであってはならない。

4 投稿原稿に，引用（転載）許諾を要する場合には，引用（転載）許諾請求処理の完了を証する書類を添付しなければならない。

5 許諾が有償の場合は著者の負担とする。

6 投稿原稿は，図書館情報センターへ提出するものとする。

(後略)

(出典 図書館情報センターWeb ページ)

資料 8-2-①-9 校内読書感想文・エッセイコンクール募集要項

NO.81 としよぶらり

平成 18 年度 (33 回)

校内読書・エッセイコンクール応募要項

●米子高専の学生であれば「読書感想文の部」「エッセイの部」いずれにも応募できます。
●読書感想文、エッセイともこれ以外の項目でもかまいません。

☆読書感想文の部

推薦図書

大江 健三郎	芽むしり仔撃ち	新潮文庫	宗田 理	ぼくらの七日間戦争	角川文庫
沢木 耕太郎	深夜特急	新潮文庫	宮沢 賢治	銀河鉄道の夜	角川文庫
M・ミッチェル	風と共に去りぬ	新潮文庫	坂口 安吾	墮落論	角川文庫
シェークスピア	ロミオとジュリエット	岩波文庫	壺井 栄	二十四の瞳	角川文庫
辻 仁成	ピアノシモ	集英社文庫	宮本 輝	蛍川	角川文庫
吉本 ばなな	キッチン	福武文庫	山崎 豊子	大地の子	文春文庫
高 史明	生きることの意味	ちくま文庫	司馬 遼太郎	竜馬がゆく	文春文庫
*重松 清	その日のまえに	文藝春秋	*ケヴィン・ヘクス	オリーブの海	白水社
*木村 元彦	オシムの言葉： フィールドの向こうに人生が見える	集英社			

*第 52 回青少年読書感想文コンクール課題図書

☆エッセイの部

以下の項目から一つ選んで、日頃自分が考えたり、思ったりしていることを自由な発想で書いて下さい。

- 少年犯罪について
- 日本の外交
- 個人情報保護法は必要か
- 和の心
- マスコミについて思うこと
- 尊敬する人間
- 現代の価値観
- インターネットの危険性
- ゲーム脳と子供たち
- 教科書問題

実施期間：夏休み
字 数：両部門とも縦書き原稿用紙(400 字詰) 5 枚以内
締 切：9 月 1 日(金)
提 出 先：各クラス図書委員が集めて担任へ(専攻科生は直接図書館まで)
審 査：第 1 次(～9 月 8 日(金))：クラス担任より部門ごとに 3 編以内を選定
：第 2 次(～9 月 15 日(金))：図書館情報センター委員会において最優秀・優秀作品を決定
審査委員：図書館情報センター長、副センター長、センター長補、図書館情報センター委員、国語科教員
表 彰：部門ごとに、最優秀賞 1 編、優秀賞 2 編、佳作数編
賞状および副賞として図書券：最優秀賞 5 千円券、優秀賞 3 千円券、佳作 1 千 5 百円券
表 彰 式：11 月中
作品提示：優秀作品は「としよぶらり」誌(82 号)に掲載

☆ 1～3 年のうち、読書感想文の優秀作品は全国学校図書館協議会および毎日新聞社主催「第 52 回青少年読書感想文コンクール」の地方審査への応募も兼ねています。地方審査で優秀作品に選ばれれば中央審査委員会で審査を受けることになります。

対象図書
(フィクション)：童話、小説、民話、神話、伝説、戯曲、詩歌など。
(ノンフィクション)：哲学、歴史、地誌、社会科学、自然科学、産業、芸術、スポーツ、語学、評論、伝記、随筆、紀行、生活記録、作文集、年鑑など。
(主催者の指定した図書)：上記の推薦図書のうち、*がついたもの。
☆ エッセイの部の優秀作品は、校外コンクールに応募することもあります。

8

(出典 平成 18 年度「としよぶらり」81 号 p. 8)

(分析結果とその根拠理由)

図書館では、一般及び専門図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に整備し、充実を図っている。学生に対して利用法についてのガイダンス、図書館報の発行、校内読書・エッセイコンクールなどにより利用を促進している。また、図書館を地域住民に開放するとともに、蔵書検索システムの導入、夜間や休日の開館により、利便性を図っている。また、ブックハンティングや希望図書の要望を取り入れるなど、学生の要求に沿った運営を心がけている。その結果、利用も活発に行われている。一方、図書館では施設面での老朽化や蔵書増による狭隘化といった問題があり、

運営会議の整備計画の中で検討している。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

各学科・科目の建屋に学生・教職員ともに自由に使用できるコラボレーションゾーンを設置し、学生教育に活用している。

バリアフリーを実現し、身体に障害を持つ学生の就学に影響が出ないように配慮している。

(改善を要する点)

福利厚生施設の高砂会館の老朽化及び図書館の老朽化，狭隘化が進んでいる。

(3) 基準 8 の自己評価の概要

各学科の教育を円滑に行うため，教室・実験室・演習室・研究室等を，目的に応じてゾーンニングし，機能的な教育を行うことができるように配慮している。

校内各所に配置したコラボレーションゾーンは特筆に値するものであり，学生教育・自習・休憩スペースとして利活用している。

図書館，情報教育施設等では，情報ネットワークを活用することにより，利用しやすい環境を整えている。また，授業のほか課外活動に利用するための運動場・体育館・福利厚生施設等を充実させている。

地域連携拠点として地域共同テクノセンターを整備し，各種会議等に使用している。図書館は，各学科・科目・学生の意見を取り入れながら，学生教育及び教員の研究に必要な水準の図書・雑誌を整備するとともに，蔵書検索システムを整備している。また，夜間及び土曜開館を行うとともに，地域住民に開放するなど，施設を有効活用している。

情報システムについては，情報教育施設を中心に校内LANを整備し，各教室，各教職員間にネットワークを形成して，学生教育や学生の自学自習等に利用している。情報セキュリティについては，セキュリティポリシーを策定して啓蒙を行い，情報技術の有効活用を教授している。

身体障害者も支障なく就学できるよう，駐車場から各教室，研究室，図書館等に至る動線をバリアフリー化している。

